

農家の友

目次

- * 表紙 高崎白衣大観音(石原町)
- * 新農業委員及び新農地利用最適化推進委員決定
新農業委員会長挨拶…………… P2
- * 新農業委員の顔ぶれ…………… P3
- * 新農地利用最適化推進委員の顔ぶれ…………… P4~5
- * 第61回高崎市農業会議所総代会開催
第1回農業経営講座・人事異動…………… P6
- * NOSAIぐんまより収入保険のお知らせ…………… P7
- * 農地パトロールの実施について
農地利用意向調査の回答結果について
編集後記…………… P8

ホームページ <http://www.city.takasaki.gunma.jp>
E-mail nougyou@city.takasaki.gunma.jp

高崎白衣大観音(石原町)

新農業委員及び 新農地利用最適化推進委員決定

7月20日に、農業委員及び農地利用最適化推進委員が選出されました。

定数は市条例に定められた、農業委員25人、農地利用最適化推進委員34人で、任期は、両委員とも、令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間です。

農業委員は、農業者や農業者の団体などから推薦を受けた者の中から議会の同意を得て市長から任命されました。

7月20日に開催された農業委員会総会において会長に今井隆委員が、会長職務代理者に塚越勤委員が、それぞれ選



農業委員会
会長
今井 隆

任されました。

今後、農地法に基づく許認可のほか、農地利用最適化推進委員とともに農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進に関する活動にご尽力いただくこととなります。

農地利用最適化推進委員は、第1回農業委員会総会において、農業委員会から委嘱されました。

定められた担当区域内において、農業委員と連携して、農地等の利用の最適化の推進のための活動にご尽力いただくこととなります。



農業委員会
会長職務代理者
塚越 勤

就任の挨拶

高崎市農業委員会

会長 今井 隆

この度、農業委員の任期満了に伴う、改選後初の総会が7月20日に開催され、委員の皆様への推挙により、引き続き会長に就任することとなりました。会長2期目ということで、身の引き締まる思いとともに、改めて責任の重さを痛感しております。

農業委員会改革に伴い、新制度に移行して3年が経過しました。移行後2期目となる今後の3年間についても、農業委員会では、農業委員会等に関する法律において、会として行うべき最も重要な必須事務に位置付けられている「農地等の利用の最適化の推進」の実現に向け、農業委員と農地利用最適化推進委員で連携し、全力で取り組んでいく所存でございます。

また、現在高崎市において

は、6次産業化、農畜産物のブランド化に加え、海外輸出を視野に入れた新たな販路開拓に向けた取り組みなど、農業の活性化に向けた様々な施策を積極的に展開されており、我々農業者の活動を強く後押ししていただいております、大変心強く思っております。

当農業委員会としても、こうした市の取り組みに協力しながら、活力に満ちた農業者の育成に努めて参りたいと考えております。

最後に、農家の皆様方の一層のご支援並びにご協力をお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。



新農業委員の顔ぶれ

氏名（敬称略・議席順）



寺崎 正親



青木 好記



佐藤 勲



浦恩城 由子



清水 静枝



中沢 幸子



信澤 健治



須田 直子



今井 隆



酒井 孝



永井 保伸



塚越 勤



大河原 藤雄



井田 裕



山田 孝夫



清水 悟



石井 多加志



福田 敬一



加藤 精一



飯塚 大輔



吉田 春美



堀越 良和



新井 元



飯野 利貞



松田 健

新農地利用最適化推進委員の顔ぶれ

氏名 (敬称略・担当区域順)
選出地区



國峯 敏幸
〈八幡・豊岡〉



小池 清樹
〈南八幡〉



松本 一正
〈片岡〉



小平 恒雄
〈旧市内・塚沢・佐野〉



箱田 裕史
〈新高尾・中川〉



深澤 啓二
〈京ヶ島〉



高田 正巳
〈岩鼻・倉賀野・新町〉



天田 重雄
〈大類〉



紋谷 巖
〈長野〉



小島 哲夫
〈六郷〉



岡田 柳治
〈車郷〉



塚越 尚紀
〈岩氷・川浦〉



中澤 澤太郎
〈権田〉



塚越 洋
〈三ノ倉・水沼〉



菊池 均
〈滝川〉



樋口 幸男
〈堤ヶ岡〉



高橋 篤
〈金古〉



小川 行雄
〈生原・柏木沢〉



森山 明
〈箕輪〉



島方 当己夫
〈車郷〉



西山 康雄
〈室 田〉



長壁 充好
〈室 田〉



伊藤 實
〈室 田〉



来原 和男
〈上 郊〉



依田 敏彦
〈国 府〉



吉田 和夫
〈吉井東・吉井西〉



高橋 正好
〈久留馬〉



清水 茂樹
〈久留馬〉



塚本 教司
〈里 見〉



乾 邦明
〈里 見〉



白田 弘子
〈多 胡〉



武藤 登
〈岩 平〉



五十嵐 一博
〈入 野〉



春山 隆通
〈岩井・小暮・馬庭〉

長い間ご苦労様でした

このたび、退任されました農業委員・農地利用最適化推進委員の方々、
これまでのご尽力に感謝申し上げます。

柳原	武藤	清水	齋藤	伊藤	田中	高見	木村	大山	竹本	須藤	推進委員 農地利用 最適化	中島	吉田	植杉	岸吉	生方	中澤	塚越	津久	農業委員
万壽夫氏	聡氏	隆明氏	薫氏	英美氏	利男氏	和理氏	茂夫氏	成一氏	勝彦氏	隆夫氏		松代氏	誠氏	郎氏	富行氏	勝人氏	正敏氏	一義氏		

第61回高崎市農業会議所総代会開催

6議案原案通り承認

第61回高崎市農業会議所総代会が新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、書面により賛否を求める書面開催の形式により行われました。

審議が行われたのは、令和元年度の事業報告、収入・支出決算、会計監査報告、高崎市農業会議所役員の承認、令和2年度の事業計画、収入・支出予算(案)、規約の一部改正の6議案で、全て原案どおり承認されました。

主な事業計画

- 一、理事会、自農協支部代表者会議を開催する。
- 二、市主催の農業まつりにおいて、自農協による「チャリティーバザー」を開催し、共進会に協賛する。
- 三、会報誌「農家の友」を発行する。
- 四、農業経営講座を開催する。

第1回農業経営講座

農林水産業費予算

	令和元年度	令和2年度
農業委員会費	50,729千円	50,798千円
農業総務費	1,639,404千円	1,641,057千円
農業振興費	76,923千円	84,296千円
農作物養蚕対策費	72,462千円	41,436千円
畜産業費	63,325千円	60,563千円
農地費	460,535千円	423,063千円
地籍調査費	39,386千円	37,363千円
林業総務費	29,428千円	28,866千円
林業振興費	166,124千円	187,092千円

令和2年度

農林水産業費予算

25億5453万4千円

令和2年度の当初予算が3月の定例市議会において議決されました。

一般会計当初予算1655億2千万円の内、農林水産業費予算の割合は、約1.54%になっております。

内訳は左記のとおりです。

令和2年度農業委員会事務局

職員人事異動

4月1日付で次の職員が異動になりました。

○転入(よろしくお願ひいたします。)

農地調整担当 係長 羽鳥 大樹 (農林課)

農地調整担当 主任主事 飯塚 淳 (防災安全課)

農業振興担当 主任主事 佐藤 裕徳 (土木課)

●転出(お世話になりました。)

吉井支所産業課 堀越 修

情報政策課 竹内 礼己

市街地整備課 千葉 峻哉

◇昇任(引き続きよろしくお願ひいたします。)

農業委員会事務局 西 慎一郎

(事務局長補佐兼農業振興担当係長)

農業振興担当 係長 松田 智也

(農業振興担当 主査)

また、本年度高崎市農政部等所属長は次のとおりです。

○農政部長 真下 信芳

○農林課長 原田 修樹

○田園整備課長 金井 孝文

○農業公社事務局 土谷 徹則

○群馬県農業共済組合高崎支所 飯塚 真

○農業委員会事務局 西 慎一郎

予期せぬ事態から
農業経営を守る



収入保険は「新型コロナウイルス感染症」 による収入減少も補償します!!

補償の対象は? 青色申告者で、全ての農産物を対象に農業収入の減少を補てんします!

自然災害等で 作付不能・ 収量減少	盗難や 運搬中の 事故	倉庫が 浸水して 売れない
けがや病気で 作付・収穫が できない	市場価格の 低下	取引先が 倒産

新型コロナウイルスによる収入減少も対象!
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響により、従業員を休業させたり、直売所の客数の減少、学校給食など販売先の営業ストップ等で収穫量や出荷量が減少し収入が減少した場合も、補償の対象となります。

※既にご加入の方は、現在の新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響による収入減少も補償となります。
※これからご加入される方は、個人であれば来年(法人であれば来年度)の収入減少の補償を受けることができます。

どれくらい補てんされるの? 基準収入1,000万円の場合、保険期間の農業収入が**900万円を下回った場合**に補てんされます(※)

- 例えば ● 保険期間の農業収入が800万円なら**90万円**の補てん(積立方式より90万円)
● 保険期間の農業収入が500万円なら**360万円**の補てん
(積立方式より90万円+保険方式より270万円)
(※)掛捨ての保険方式の補償限度80%と掛捨てでない積立方式の補償幅10%で加入した場合です。

掛金はいくらなの? 基準収入**1,000万円**の場合、初年度は**32.5万円**です(※)

- 掛捨ての保険料7.8万円 ● 掛捨てでない積立金22.5万円 ● 事務費2.2万円
(※)掛捨ての保険方式の補償限度80%と掛捨てでない積立方式の補償幅10%で加入した場合です。
(※)積立金は自分のお金なので、**補てんに使われなければ、翌年に持ち越されます。**

令和元年分の保険金等を随時お支払いしています!(6/30現在)

・加入経営体 275経営体	・支払実績
113経営体	308,875,388円
(1経営体当たり2,733,410円、経営体支払率41.0%)	

※収入保険に関する詳しい内容については、下記までお問い合わせください。
NOSAIぐんま 高崎支所 電話:027-344-2181

今号については、新型コロナウイルスの影響により、「農業者紹介シリーズ」をお休みいたします。

令和2年度の
農地パトロールを実施します。

8月7日から9月11日にかけて農業委員会による農地パトロール(利用状況調査)を実施します。

この調査は、高崎市全地域の農地の利用状況を調査するもので、地図を片手に現地を回ります。

保全管理や調整水田など、たとえ作付けを行わない農地であっても、耕運や雑草の刈り取りを行うなど、定期的に農地の管理を行っていただきますようお願いいたします。

今回の調査で適正に管理がなされていらない農地の所有者には、有効に農地が利用されるよう意向調査等を行います。



令和元年度利用意向調査の回答結果について

令和元年8月から9月にかけて農地パトロール(利用状況調査)を実施しました。その結果に基づいて、遊休農地の所有者等に対し、農業委員・推進委員による戸別訪問を中心に農地の利用意向調査を行いました。

- 利用意向調査送付件数(令和元年12月27日発送) 120件 139筆
- 回答件数(回答期限:令和2年2月21日) 92件(76.7%)

○回答状況

意向	回答件数	回答割合
①中間管理事業(群馬県農業公社)利用希望	44件	48%
②農地利用集積円滑化団体(高崎市農業公社)利用希望	7件	8%
③自ら、所有権の移転又は、賃借権の設定予定	1件	1%
④耕作予定	16件	17%
⑤その他(管理保全等)	24件	26%
合計	92件	100%

令和二年初め、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、農家の友の編集会議を含む、全ての会議がいつものように開催できない状態となりました。三密を避けるため、これからは新しい生活様式の実践方法を模索する生活が続くと思われまます。感染症は全世界に蔓延し、高崎市の農家も厳しい状態が続いています。大規模農家では、研修生の受け入れができず、人手不足のため農作物の出荷体制にも影響が出ています。出荷できない農作物を圃場で廃棄する状況が続けば、農業経営にも影響がでます。そんな中、我が圃場の上空でカッコウが鳴いていて、農作業を促すように聞こえました。麦刈りが終わると田植への農作業の繁忙期となり、季節は変わらず巡ってきます。緊急事態が解除となり、自粛生活から解放され、皆様もほつとされたのではないのでしょうか。これから通常の生活へ戻るのには、相当の時間がかかると思いますが、新型コロナウイルス対策をして、食糧生産を頑張りましょう。

(T・N)

編集後記

募集しています。農家の友では、皆様からの身近な情報から、ご意見・ご要望、表紙の写真(農業関係)を募集しています。ぜひ農業委員会事務局まで。

表紙の写真
高崎白衣大観音